

心のふれあいを求めて

創造活動

豊中市在住の不登校の小中学生を対象に、家庭と学校との中間的ステーションとして安心できる心の居場所を提供します。子どもたちが興味・関心のある活動を通してさまざまな生活体験を積み、人とのふれあいを深める援助をします。

心のエネルギーを高めていく中で、学校へ復帰することや自立して社会に関われることをめざします。

◆ 創造活動には次の3つの活動があります

1 相談援助活動

来館相談と電話相談があり、継続的な相談援助を行います。教職員を対象とした相談もあります。

2 訪問援助活動

外出できない状態の子どもに対しては、学生カウンセラーが定期的に家庭を訪問し、「よき兄姉」「よき友」となって援助を行います。

3 自主創造活動（登館活動）

外出できる状態の子どもは、登館して活動を行います。まずは個人援助から始め、その後、全体プログラムに移行して活動します。子どもの状況に応じて、プログラム以外の活動（自主プログラム）をすることもあります。

◆ 学校との連携

援助や指導の経過の中で、個々の子どもの変化に応じて、学校との連携・協力を行います。

◆ 全体プログラムの主な内容とねらい
（☆は専門のプログラム指導員が指導します）

☆クッキング

仲間と協力して料理し、楽しく食事をします。家庭でも自分の食事を用意できることをめざします。

☆茶道

静かな雰囲気の中でお茶を点て、心の安らぎを感じます。

☆つくってみよう

絵画・手工芸等を個人や共同で制作し、創造力を高めながら作る楽しさと完成の喜びを味わいます。

☆体を動かそう

柔軟体操・卓球・ゲートボール等の軽スポーツをします。体を動かすことで心も動き、エネルギーが生まれます。

☆生活を学ぼう

自然の素材を使って作品を作ります。土に親しみ、作物の成長と収穫の喜びを味わいます。

☆リズムで遊ぼう

個々の子どものお気に入りの楽曲を聴きあったり、今まで経験しなかったさまざまな楽器の演奏にチャレンジしたりします。音楽に親しみ、表現する楽しさを感じます。

☆学習

個々の子どもが希望する学習をします。

☆やすらぎタイム

仲間やスタッフとの交流の時間として語り・ゲーム・創作活動・ソーシャルスキルトレーニングなどをします。

◎館外活動

社会見学・歴史探訪・スポーツ・ハイキング・乗馬等を月1回程度実施し、子どもたちの視野と行動範囲を広め、自然に触れたり、社会的な経験を豊かにしていきます。



学習の機会があります

寄り添い型学習支援事業

◆ 寄り添い型学習支援とは

原則、塾に通ったり家庭教師をつけたっていない中学3年生が対象です。

（塾・家庭教師についてはオンラインによるものを含みます）高校進学をひかえた「テスト対策」だけでなく、卒業した後も必要な「自学自習」をめざします。「勉強方法がわからない、問題のとき方がわからない」「集中して取り組めない」など気持ちを落ち着けて学習できるよう学習支援員がサポートします。

◆ 日時・場所

時間：火～金 16：30～18：30
土 13：30～17：00

* 金曜日は2学期から開始します。

* 月曜日・日曜日・祝日はお休みです。

場所：スタディールーム1

※利用状況等について、中学校と連携していきます。

◆ 相談支援

「学校生活や家庭の困りごとや不安」などについて、臨床心理士による相談ができます。お電話の上、ご予約をお願いします。

※ 個別の進路相談については、中学校とご相談ください。